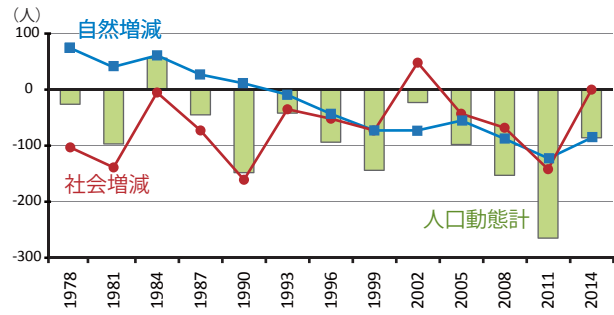
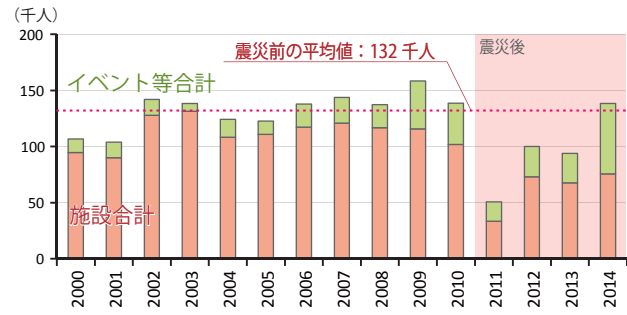


まちの実態

町人口の自然増減（出生・死亡）や社会増減（転入・転出）は、1993 年以降ほぼ一貫して減少しています。また、観光客数は震災前水準まで回復しきれていない状況です。



人口動態の推移

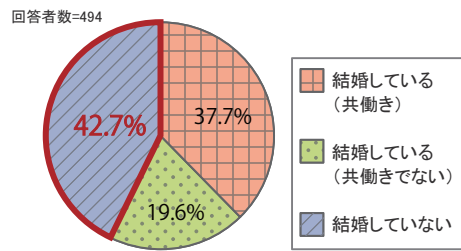


観光客数の推移

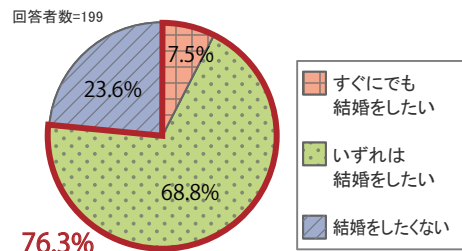
アンケート結果

平成 27 年 7 月実施

「定住・結婚・出産・子育て」等に関して、15 歳以上の町民 2,000 人を対象にしてアンケート調査を実施し、約半数の方から回答をいただきました。

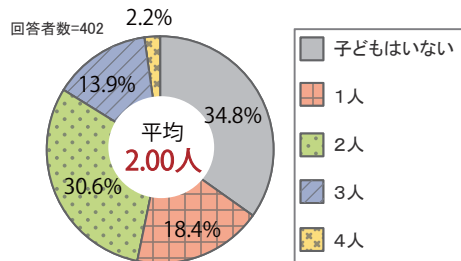


結婚の有無

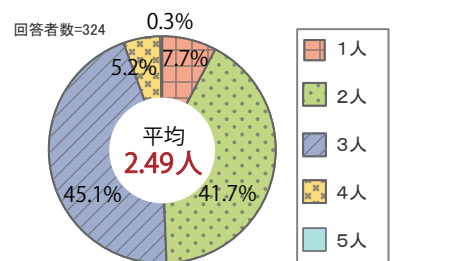


結婚に対する意向

回答者の約 40%が未婚であり、その中の約 75%が「すぐにも結婚をしたい」「いずれは結婚をしたい」と回答しています。結婚支援策としては「安定した収入確保のための就職支援」等が期待されています。

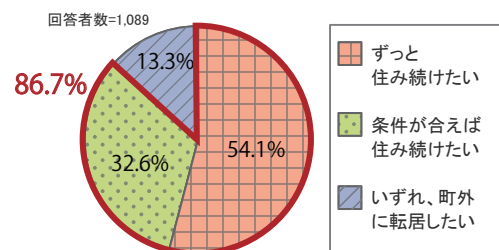


自身の子ども数

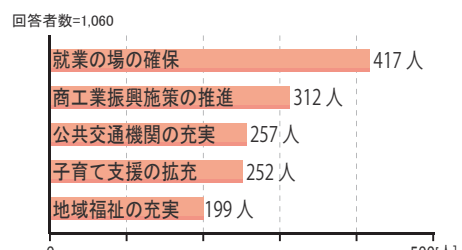


理想の子ども数

回答者の平均的な子どもの人数は「2.00 人」である一方、理想の子ども数の平均は「2.49 人」でした。出産・子育て支援策としては「妊娠・出産・子育て時の継続的な経済的支援」等が期待されています。



本町での定住に対する意向



今後、町に期待する施策 (上位 5 つ)

回答者の約 85%が本町に「ずっと住み続けたい」「条件が合えば住み続けたい」と回答しています。今後、町に期待する施策としては「就業の場の確保」等が多く、産業の活性化等が求められています。



桑折町まち・ひと・しごと創生

人口ビジョン・総合戦略

【概要版】

(平成 27 年 10 月初版策定)

人口ビジョン

期間：平成 27(2015) 年～平成 72(2060) 年

桑折町の人口減少に関する状況を町全体で共有するため、町の人口の現状を分析し、目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。

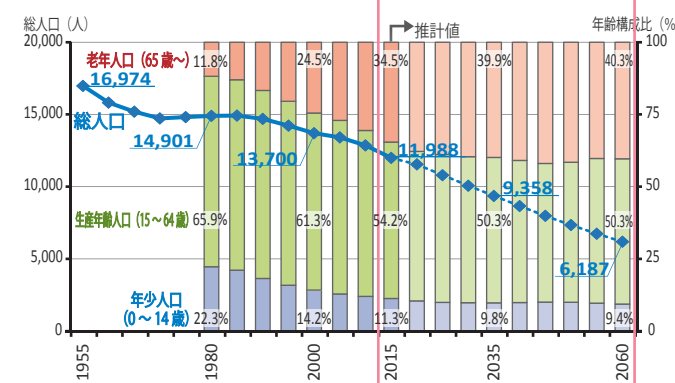
地域活性化・人口減少対策を講じ

人口 10,000 人

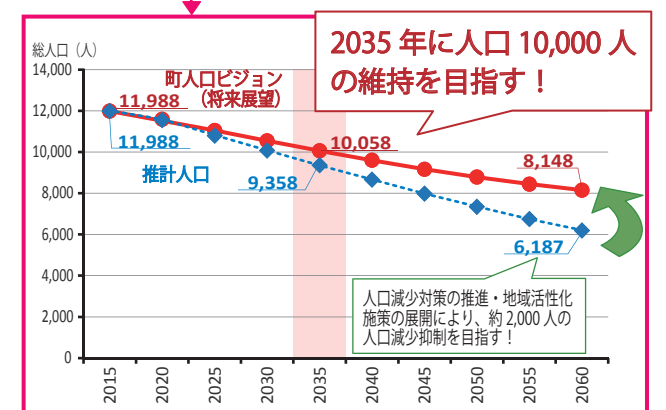
の維持を目指します。

桑折町の人口は、1985 年以降減少が続いています。そして、このままの状況が続くと、少子高齢化により約 20 年後の 2035 年頃には人口が 10,000 人を下回ると推計されています。人口減少は、地域経済の規模縮小、行政・民間サービス水準の低下等、日々の生活に大きな影響を与える恐れがあります。

そこで町は、出生率の向上や定住促進、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成などの対策を講じ、「2035 年に人口 10,000 人の維持」を目指します。



過去の人口動向と将来の推計人口



町が目指す人口の将来展望

「桑折町人口ビジョン」「桑折町総合戦略」に関するお問い合わせ先

福島県桑折町 政策推進課 政策推進係

〒969-1692 福島県伊達郡桑折町字東大隅 1 8 番地
【tel】024-582-2115 【fax】024-582-2479

【URL】<http://www.town.koori.fukushima.jp>
【E-mail】seisaku@town.koori.fukushima.jp

総合戦略

期間：平成 27(2015) 年度～平成 31(2019) 年度

「人口ビジョン」を踏まえ、人口減少と地域経済縮小の克服を目指し、今後5ヶ年の目標を設定した上で施策の方向性、具体的な事業を取りまとめたものです。本戦略の進行管理は、数値目標や重要業績評価指標（KPI※）について把握・検証を行った上で、必要な見直しを行う「PDCA サイクル」により実施します。
※重要業績評価指標（KPI）とは、Key Performance Indicator の略称です。

目指すべき将来の方向（「人口ビジョン」より）

2035 年（概ね 20 年後）に 10,000 人を維持

- ① 当面の人口減少に対応した経済基盤の強化（人口減少に負けない経済基盤づくり）
- ② 社会増実現に向けた転出の抑制と転入の促進（戻りたくなる環境づくり）
- ③ 自然増実現に向けた結婚・出産・子育て支援（希望を実現できる環境づくり）
- ④ 安全安心な居住環境の構築（安心して住み続けられる環境づくり）

桑折町総合戦略の基本理念

1. 若者が希望を持って暮らせるまち こおり
2. 子育て世代が安心して暮らせるまち こおり
3. 町民みんなが健やかに暮らせるまち こおり

必要な見直し（施策の方向性の修正・具体的事業の追加や遂行方法の修正）

Plan 基本目標

【基本目標 1】

産業を活性化し、雇用を支えるとともに、
交流人口を増やす

【数値目標】

項目	目標値（基準値 / 基準年）
従業者数（民営事業所）	平成 31 年で基準値以上 (4,970 人 / 平成 24 年)
観光入込客数	平成 31 年で基準値以上 (138,340 人 / 平成 26 年)

【施策の方向性】

- 1-1 既存産業の強化・拡充を推進
- 1-2 新規産業の創出・企業誘致を推進
- 1-3 農業の成長産業化を推進
- 1-4 町内就業を推進
- 1-5 交流人口の拡大を推進

【主な具体的事業】

- 1-1 商店街活性化推進事業
企業の地方拠点強化税制の導入 等
- 1-2 新規創業者支援事業
相馬・福島道路整備に伴う IC 周辺の土地利用 等
- 1-3 6 次産業化の取組み推進
特産品の桃をはじめとする農産物 PR 等
- 1-4 町内中核企業との連携
就職相談会の開催 等
- 1-5 在京桑折会の結成及び運営支援
ハートレイク半田沼観光誘客事業
歴史的資源の PR 事業 等

【主な重要評価指標（KPI）】

- ◆ 地方拠点強化・拡充した既存企業数
- ◆ 新規創業者の相談件数
- ◆ 6 次産業化の補助金交付件数
- ◆ 就職相談会の開催回数
- ◆ 街なかイベント開催による来場者数 等

数値目標

施策の方向性

Do

具体的事業

Check

数値目標・KPI の検証

Action

【基本目標 2】

人口流出を防止するとともに、移住を促進し、
定住人口を増やす

【数値目標】

項目	目標値（基準値 / 基準年）
転入者数	平成 31 年で 385 人 (365 人 / 平成 26 年)
転出者数	平成 31 年で 345 人 (365 人 / 平成 26 年)
社会動態	平成 27～31 年で +120 人 (Δ299 人 / 平成 22～26 年)

【施策の方向性】

- 2-1 移住・定住に向けた「きっかけづくり」を推進
- 2-2 若者や移住者等の住まい確保を推進
- 2-3 魅力・特色ある教育環境形成を推進
(桑折っ子育てプロジェクト)

【主な具体的事業】

- 2-1 移住相談窓口の設置、移住者交流会の開催
“25 歳同級会” の開催
「(仮称)若者塾」の開催
- 2-2 若者のマイホーム取得支援（三世同居・近居）
空き家の実態調査・活用対策の検討 等
- 2-3 ICT を活用した魅力ある教育の推進
平和教育の推進（広島市等への派遣）
ふるさと学習の推進 等

【主な重要評価指標（KPI）】

- ◆ 若者の定住率
- ◆ 子どもの体力・運動能力

【基本目標 3】

結婚・出産・子育て支援により、
人口の自然増を目指す

【数値目標】

項目	目標値（基準値 / 基準年）
婚姻数	平成 31 年で 46 件 (33 件 / 平成 26 年)
出生者数	平成 31 年で 84 人 (82 人 / 平成 26 年)

【施策の方向性】

- 3-1 出会いの場の創出支援を推進
- 3-2 妊娠・出産の支援を推進
- 3-3 子育て支援を推進
- 3-4 仕事と生活の調和実現を推進

【主な具体的事業】

- 3-1 仲人事業（マリッジコーディネータ）
婚活支援事業（ももコン）
- 3-2 不妊・不育治療助成事業
- 3-3 入園・入学祝い制服支給事業
多子世帯の幼稚園授業料の軽減
子育て支援に関する分かりやすい情報の発信 等
- 3-4 働き方改革の実現

【主な重要評価指標（KPI）】

- ◆ 婚姻数
- ◆ 出生者数
- ◆ 「子育て環境の充実度」
- ◆ 「男女平等意識の醸成」に関する満足度

【基本目標 4】

ひとの温かみを感じ、安心して生活できる
新しい地域を創る

【数値目標】

項目	目標値（基準値 / 基準年）
「地域や人の温かさ」の満足度 (満足・やや満足の合計)	平成 31 年度で基準値以上 (44.6% / 平成 27 年度)
「医療・福祉の充実度」の満足度 (満足・やや満足の合計)	平成 31 年度で基準値以上 (25.9% / 平成 27 年度)

【施策の方向性】

- 4-1 健康で安心して住み続けられる環境形成を推進
- 4-2 持続可能な町の基盤形成を推進

【主な具体的事業】

- 4-1 地域包括ケアシステムの構築
独居高齢者見守り訪問事業（民間事業者との協定締結）
- 4-2 都市インフラの長寿命化・再構築と公共施設の維持管理の最適化
消防団の充実強化
災害時備蓄物の強化
防災訓練と自主防災組織の結成促進
再生可能エネルギーの推進

【主な重要評価指標（KPI）】

- ◆ 要介護認定者率
- ◆ 消防団員の充足率
- ◆ 防災訓練参加者数

具体的事業の詳細は、本編をご確認ください。